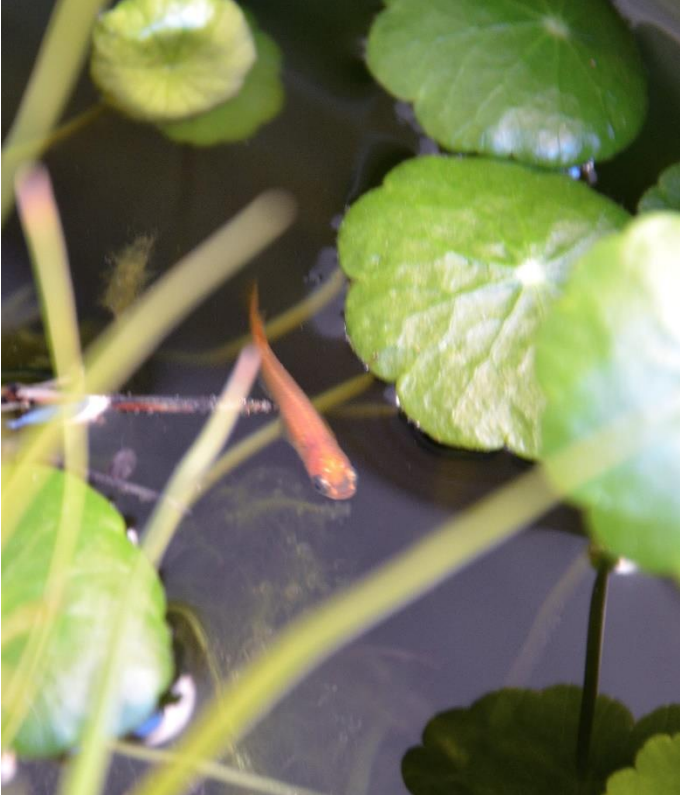




奈良町にぎわい通信

Vol.49

二〇一九・立夏〜小満

発行
奈良町
にぎわいの家





石の芸術、力作が！



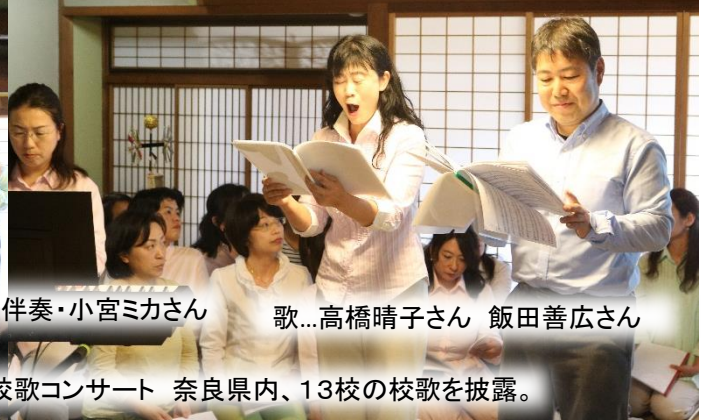
盆石展のテーマは「海」。



体験も！ 坊やが挑戦！



「楽しく！コーラス」の皆さん



伴奏・小宮ミカさん

歌...高橋晴子さん 飯田善広さん

歌人・前登志夫 作詞校歌コンサート 奈良県内、13校の校歌を披露。



竹村雅歌弥先生の演奏。



やさしい短歌

喜多隆子先生、添削中。



箏の音色に触れよう 体験も！



皆さんの短歌を発表。

奈良町にぎわいの家 4月のイベントから



「楽しんでいただけましたか？」



開館5年！記念茶会は庭でのお点前をみながら。

恒例の「みんなでつくる こいのぼり」



襖を外した広々とした座敷でおもてなし。



青空の下でこいのぼりをカラフルにペイント中！



色紙のうろこにメッセージをかいて...



貼り付けたら、みんなのメッセージでいっぱい！

奈良町 施設巡りトーク～Vol.10 京終駅観光案内所 駅舎カフェ「ハテナミドリ」

お話

特定非営利活動法人京終
理事長 萩原敏明さん



●開店時間

11:00～19:00

●定休日...水曜日

●連絡先 〒630-8141

奈良市南京終町211

京終駅内

TEL 070-1849-1033

●施設紹介

JR京終駅駅舎が復元され、駅舎カフェでは京終の魅力を伝えるとともに新たなにぎわいの場所として生まれ変わりました。本年2/23に元駅務室を、暮らしを豊かにするお店としてオープンした「ハテナミドリ」の名前には、まちに必要とされる「水」のような店でありたい、水の一滴一滴によって、京終の青葉を育み、「はてのない」緑に変わっていくように、という願いが込められています。奈良町の南の玄関口として、JRで往き来する観光の出入口として、この京終の場所から魅力を発信していきたい。

●駅舎カフェとして～良いものにこだわって

①コーヒーから…こだわりのドリップコーヒーは、「麻」のフィルターを使用しています。麻は紙より「ろ過率」が低く、コーヒーの香味成分をより味わえ、風味も良いと言われています。麻は奈良時代から生活に溶け込み、防菌防臭作用が強いと言われております。ハテナミドリでは注文をいただいてから豆を砕き、ひとつひとつ丁寧にドリップをして入れています。少しお時間を頂くことはありますが、豊かな味わいになっています。
②白いピアノ…奈良は各家庭のピアノ保有率が全国でもトップ5に入ると聞き、この場所にピアノが設置できないかと考え、ご家庭で使われなくなったピアノを募り、寄贈していただきました。白いピアノはハテナミドリに入るとすぐに目に入ります。京終駅から始まった「結び音(おすびね)」では駅に静かな音が寄り添い、音色が奏でられます。結び音は定期的開催していますので、ハテナミドリまでお問い合わせください。
③町の音、町の色…木造の建物の中には、木の椅子、カウンター、14面体のスピーカー、暮らしを豊かにする奈良の商品の数々。商品を製作された事業者の気持ち、物語を大切にしながら、私達が伝えたいまちのビジョンと想いをこの空間にたくさん閉じ込めています。今でしか見れないレトロな緑の電車とともに楽しみください。

●KYOBATE THINKING とは

京終のまちを考えていくとともに、まちづくりのビジョンを共有し、共に活動していただける仲間を増やしていくことを目的としています。今後、駅前広場でのマルシェやお祭りなど、現在の企画とともに開催できたらと考えています。皆様、ご協力をお願いします。

4/21開催、前登志夫作詞・校歌コンサートより

日本を代表する歌人、前登志夫(1926-2008)は、県内始め、奈良市内の校歌も作詞、明治小学校、京西中学校、平城中学校、二名小学校、二名中学校の校歌を披露しました。

元号「令和」は万葉集からの出典ですが、1300年の和歌の伝統に連なる歌人、前登志夫が校歌を作詞し、学校で歌われていることは、奈良ならではの！以下、歌人の書いた校歌を一部紹介します。万葉に連なる風景がみえるかも！



清々しい歌声が町家に！

明治小学校 校歌 作詞 前登志夫 作曲 本霊元朝

うたってる うたってる
たかまどやまが
ぼくらの ほほを わたしのかみを
うたってる うたってる
めはすみて たのしくまなぶ
みんなの みんなの すがたを
やまとのそらの ひかりをあつめ
まことのこころを そだてよう
めいじ めいじ しょうがっこうに



前登志夫
自作歌碑の前で

奈良町にぎわいの家 二十四節気葉書 ～小満～



オリジナル節気短歌
喜多隆子(歌人)
はがきデザイン
金田あおい(藍寧舎)



小満の木々のかげ濃しそこに遊ぶ
鹿の親子も人の親子も

小満のころ、陽差しも
強くなり、木々のかげも
濃くなっています。そんな
日陰で鹿の親子も人の
親子も遊んでいる。
健やかな奈良の風景。

事務局だより

2019
小満

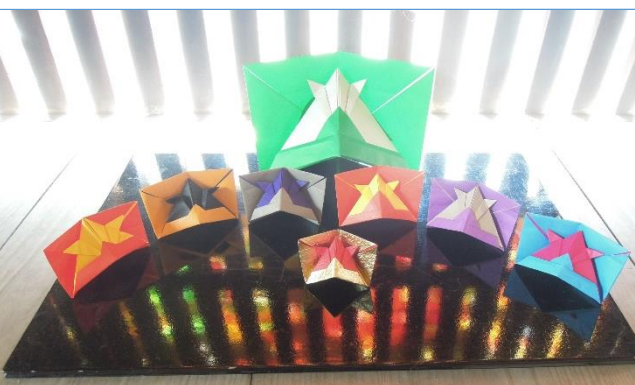
梅熟れるころ

事務局長 藤野正文

季節は、万物が次第に成長して一定の大きさに達して来るころとされる「小満」(しょうまん 五月二十一日)から、稲や麦など芒(のぎ)のある植物の種をまく「芒種」(ぼうしゅ 六月六日)へ。(実際の種まきは、これよりも早い時期ですね。)[「芒・のぎ」とはなじみのない漢字・言葉ですが、稲のもみ殻にあるとげのような突起のことを言うようです。

そしてそのあとは早くも一年で一番昼の時間が長い「夏至」になりますね。この一か月間は急激に陽射しが厳しくなる、長くなる、太陽のパワーが徐々に増していくことを感じる時期です。芒種の最後の候は、梅の実が熟し、黄色に色づく季節「梅子黄」(うめのみ きばむ)。奈良町の町家の裏庭にある梅の木が実をつけます。梅が実れば梅酒づくり、梅干しづくりなど自宅で育ったものを調理します。

梅は昔から「三毒を断つ」と言われ日本人の健康を支えてきたようです。三毒とは食べ物に付着するバクテリア、疲労の元になる乳酸、水に含まれる雑菌や病原菌などを指します。梅干しは、殺菌効果や疲労回復、血液浄化作用な



元興寺町の岸森さん作の折り紙「屏風付かぶと」
かっこいい！格子に映えます。



一人ひとりが
思いやりのある
世界に!!!

令和最初の黄金週間！

どの効果があるようです。一番なじみのあるのは日の丸弁当でしょうか？
この季節、奈良町のそれぞれの家で見えないところで自家製の梅干し、梅酒を作っているのを想像するだけで、豊かな気持ちになります。奈良町産梅干し。

こいのぼりのうろこに、
皆さんが書いてくださった
沢山のメッセージ。
ありがとうございます！

10連休！「昔遊び」で大にぎわい！



玉すだれ、次の形は？！

ママはゴム飛び名人なり！

日本のシンプルな
昔遊びが、
世代をつなぐ。
世界をつなぐ。



トントン相撲は世界標準かも！



若人よ！遊べよ遊べ！



おはじきに夢中。



コマ回し、型ができる！



奈良町にぎわい通信vol.49

制作...奈良町にぎわいの家管理共同体
発行人...二十軒起夫
編集・構成...おの・こまち
表紙デザイン・レイアウト...福田昭一
撮影...奈良町にぎわいの家スタッフ

奈良町にぎわいの家 9:00~17:00 水曜日・休館
〒630-8333 奈良市中新屋町5 TEL 0742-20-1917

nigiwainoie@gmail.com

<http://naramachi-nigiwainoie.jp/>

書：逢香



奈良町にぎわいの家
オリジナル節気マーク



立夏



小満

5/6~20

5/21~6/5

花菖蒲咲く池のへに肩寄せて
高校生は何かたらふや

前登志夫